

第15次調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

平成7(1995)年7月24日～12月7日

だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

調査概要

- 所在地 神奈川県三浦市三戸字ハタ284番
調査面積 900m²
調査原因 農地造成工事に伴う調査
主な遺構 住居址10軒 溝状遺構1条
主な遺物 青銅品・ヒスイ製の勾玉・骨製のヤス・ミニチュア土器・自然遺物（魚骨・魚歯）
特記事項 谷間の調査地であるが、弥生中期宮ノ台期の住居址2軒と弥生後期久ヶ原期住居址8軒と東西方向に展開する最大幅1.6m、深さ60cmを測る溝を発見している。この溝からは多くの土器片が出土しており、その大半は久ヶ原期である。1軒の住居址から骨製のヤスが発見され、この調査地から多くの魚骨・魚歯も発見されており、海との関係を示す資料と言える。また、遺構以外からであるが多くのミニチュア土器が出土している。（参考文献：『赤坂遺跡第15次調査概報・1996年1月』）



第15次調査区遺跡全景写真。弥生時代中期宮ノ台期の住居址2軒と弥生時代後期久ヶ原期の住居址8軒が発見された。（所蔵：三浦市教育委員会）



土錘の出土状況。土錘は漁網用の重りとして使用されたと考えられている。（所蔵：三浦市教育委員会）